



かいのき児童クラブ便り

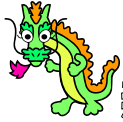


子どもたちのはじける笑顔のために



H24. 1. 4

冬号 NO. 2



新年あけまして おめでとございます。

今年もどうぞよろしくお願ひします。

短い冬休みのかいのき。夏の盛り上がりや、後もう少しこのまま・・・皆で。と思っていた指導員も4ヶ月近くのブランクが空くと、どうなるかとも、ドキドキでした。でも、その指導員の心配をかいのきの子供たちは、見事に裏切ってくれました。会うなり『おっ！！げんきやったか？』『ひさしぶり！！』と。夏の集団の続きが見られました。陣取りや大富豪・けん玉相撲などでは、今回からの子もちゃんと入って、一緒に遊んでいました。

ルールは、自分たちで

初日の朝一、久ぶりに会った嬉しさでクラブハウス内を駆け回る子どもたち。だんだん人数が増えてくると危ないのもあり、高学年の男子に声をかけました。『かいのきでのルールを今日、みんなに説明しようと思うけど、書いてくれると助かるんだけど。内容はまかせろ！！』『ええ〜！！・・・でも暇だからええよ。』と快諾。

模造紙とペンを渡すと何人かの元気印の男子が輪になって、相談しながら書いてくれました。内容は、結構指導員の意図としていたものと、それ以上のことも入っていました。でも自分たちで書いたのその後、ハウス内で走ることもありませんでした。自分たちで・・・とつても大切なことですね。

お詫びとご報告

年末にお餅つきをしました。ウェイトトレーニング部の学生さんが4人ほど手伝いに来てくれました。またその学生さんたちは老人ホームなどへも餅つきのボランティアなどもしているらしくとっても上手で、かよわい指導員軍団は、本当に助けられました。

また、持ち帰ったお餅がにおいがするとの問い合わせがありましたが、元祖釜と木のせいろで蒸した分が（これは子どもたちが火の番を自分たちで火をつけたものです。）せいろまで火が上がったもち米だったため、においがついたようでした。持ち帰りのときに声をかけられず、皆様にはご心配をおかけしました。本当にすみませんでした。プラスチック製のものなどが燻されたのではないので、体には害がないことをご報告しておきます。

1月5日（木）料理の日・大型かるた

トン汁・ごはん。材料はこちらで用意します。

今回も保護者の方からは行事の日程など、早めの提示を希望されていたことや指導員も行事は子どもたちの意を汲んでほしいので、相談を持ち掛けていました。ですが、子どもたちからは『あそびたい！！』ひたすらその言葉がでてきます。子どもたちが遊びこんでいる姿を見ていると、『そうよな、短い、短い冬休み。ひさしぶりに会ったら、邪魔されずにあそびたいよな。』指導員もそう思いました。

そこで。最後の五日はしたい子がしたいことをしようと思っています。高学年女子の『味噌汁の宿題がある。味噌汁ならできる。』からトン汁・ご飯にしました。お米もこちらで用意します。最後に『あ〜おもしろかった！！またあそぼうな！！』をめざして、がんばります。



こんなことして遊んでるいるよ！！

『お茶屋さん？』

2年生の女子が夏から続けてやっているお茶屋さん。自分たちのお茶を混ぜたりして、いろんなお茶があるようです。メニューがあったり、ポイントカード作ってくれたり、何度かいくとお小遣いまでくれて、これでまたきてください。なんて・・・今回はお店の名前が「ジュエルカフェ」『？』高学年の女子は知っていて『それってちょっとちがわん？』と。でも指導員がしっのポーズをするとそれに気づいて、ニヤニヤしながら黙って、見守ってくれています。これも異年齢ならではの、ですよ。オチビさんたちを見守るやさしいおねえさんでした。

* 今は、衛生上のことも子どもたちと考え、本当に飲むのは、かいのきの夕方のホットタイムでその子たちに活躍してもらっています。

『マッサージ屋さん』

マッサージ屋さん、とっても気持ちがいいんです。店員さんが予約を聞きに来てくれます。「ちーちゃんの次ですので・・・。また順番が来ましたら、お呼びしますのでお待ち下さい。」言葉遣いもしぐさもと一つも丁寧です。「次のおきやくさま。たかちやーん。」(そこは、なぜか、高橋様ではないのです。)マットハウスで、囲われたところで、まず説明をうけます。クレジットカードをつくりませんかの勧誘で、断るとこんな特典がありますと、どこかで聞いたことのあるようなとっても熱心な勧誘です。「あのう～断っても良いですか？」に「むりやりではないのでいいですけど・・・」とまだ特典や更なるおまけをつけてくれます。思わず「星野さんちの(ちーちゃん)奥さんはどうされました？」にさらっと「あっ！つくっていただきましたよ。」思わず「じゃあ。お願いします。」とカードを作るとやっとなんかマッサージしてくれます。「こっちを頭で寝てください。」ちゃんと足元にあったかい布をかけてくれ、気持ちよくマッサージしてくれます。指導員はみんな本当に寝てしまいそうになりながら、至福のときを過ごしています。コミュニケーションが問題になっている今、コミュニケーションをとりながら、相手の気持ちを考えてする『ごっこ遊び』の大切さを考えました。

外遊び

寒くても雪がちらちらしていても、外で元気に遊んでいる元気印の子どもたちも継続して、遊んでいる意味を指導員に確認させてくれました。初日から自分たちで組み分けをし、サッカーをしたり、野球をしたりして遊んでいます。ドッチでは、何人か女子が入った時点で男女対決になり白熱しています。学校がちがっても男女混じっても遊べるようになってきている子どもたちに『遊べているからちよっと様子をみておきます。』とつつんが見守っていました。



学習時間の試み

ざわついて、勉強に集中できない子がいたので、かいのきでは、学習時間をどう捉えるかが指導員の中でも課題でした。今までは班を優先しすぎ、班の並びで向かい合わせでした。子どもたちは同じことをするわけではないので余計に他の子のすることが気になってしまいます。そこで落ち着いているこの冬休みから、あえて試みてみようと思いの並び方を変えてみました。朝の会は班毎に縦に机なしで並び、その後勉強するために、机を出し入所説明会のように、一列に同方向向きで並んでいます。それだけで今は静かに勉強する空気になっています。きっとわざわざ机を出すのが勉強をするため、という意識付けになっているのではないかと考えています。